

幸運(チャンス)をつかむ

昨年の学年朝会で、「Good Luck」という本の紹介をしました。その本に「幸運(チャンス)が訪れないからには、訪れないだけの理由がある。幸運(チャンス)をつかむためには、自ら下ごしらえをする必要がある」という一文があります。この一文は幸運(チャンス)は誰にも平等に与えられるが、その幸運(チャンス)がいつ与えられるか分からない。したがって、いつ幸運(チャンス)が与えられてもいいように幸運(チャンス)をつかむ準備が必要だと解釈ができます。

例えば、部活動でのレギュラー争いに敗れ、「自分はレギュラー選手たちに負けない位練習をしているのに・・・」「こんなに練習をしているのに試合に出られないのであれば練習をする意味があるのか・・・。」と悔しい思いや気力をなくした複雑な思いをもっている人がいるとします。

あなたならその人にどういったアドバイスをしますか。

私なら次のようにアドバイスします。

「レギュラーの選手がずっとレギュラーとは限らない。今のあなたのように、ケガや不調によってレギュラーを退かなければならないこともある。そのときはあなたにレギュラーになる幸運(チャンス)が訪れる。しかし、あなたが今回レギュラーになれなかったことで努力を止めてしまっていたら幸運(チャンス)をつかむことはできない。逆に、レギュラーになることを諦めずに努力を続けていれば幸運(チャンス)をつかむこともできる。」

『人生は山あり谷あり』『頂上に登ったら頂上に居続けることはできない。登頂後は下らなければならぬ』などと言われるように、私たちが生きていくなかでは、良いときもあれば、努力をしても報われない悪いときもあります。思うようにいかないときにこそ、くさらず諦めずに幸運(チャンス)をつかむための努力をしていきたいものです。

ちなみに、幸運(チャンス)の神様は前髪しかなく、後頭部は禿げているらしいです。ですから、幸運(チャンス)を通り過ぎてしまってから追いかけても、幸運(チャンス)をものにすることができないらしいですよ。



チャンスの神様は前髪しかない。



矢印はどっち向き?

物事がうまくいかないとき、「周りが悪い」などと、うまくいかない理由を他人や環境のせいにしてしまいがちです。私もよくやりがちです。

なぜ、他人や環境のせいにしてしまうのでしょうか。

それは、そうした方が自分を省みること変えることも必要なく、楽だからです。

しかしうまくいかないときの原因を振り返ってみると、自分に原因があることが多かったのではないのでしょうか。

物事がうまくいかないとき、あなたの矢印は内側(自分)を向いていますか、それとも外側(他人や環境)に向いていますか。

自分を省みる・変える行為は大変勇気のいることですが、矢印を内側(自分)に向けられるようにしたいものですね。